

連結及び単体業績概要

(平成22年3月期 第1四半期)

1. 連結第1四半期業績の概要

【単位:百万円、(%)】

項目	平成22年3月期 第1四半期	平成21年3月期 第1四半期	対前期比較	平成22年3月期予想	
				第2四半期累計	通期
売上高	3,246 ( 100.0 )	2,966 ( 100.0 )	+ 280 ( 9.4 )	6,450	14,970
アニメーション事業	2,312 ( 71.2 )	2,001 ( 67.5 )	+ 310 ( 15.5 )	4,520	11,150
アミューズメント事業	933 ( 28.8 )	964 ( 32.5 )	△ 30 ( △ 3.2 )	1,930	3,820
営業利益	△ 73 ( △ 2.3 )	△ 84 ( △ 2.9 )	+ 11 ( - )	△70	310
経常利益	△ 24 ( △ 0.7 )	△ 30 ( △ 1.0 )	+ 6 ( - )	△10	380
当期純利益	△ 66 ( △ 2.0 )	△ 38 ( △ 1.3 )	△ 27 ( - )	△90	30
1株当たり四半期 (当期)純利益	△1円62銭	△0円92銭	△0円70銭	△2円20銭	0円73銭

- 当第1四半期末 連結子会社数 6社 持分法適用会社 1社
- 期中における連結範囲及び持分法の適用の異動  
連結 (新規) 0社 (除外) 0社 持分法 (新規) 0社 (除外) 0社

2. 単体第1四半期業績の概要

【単位:百万円、(%)】

項目	平成22年3月期 第1四半期	平成21年3月期 第1四半期	対前期比較	平成22年3月期予想	
				第2四半期累計	通期
売上高	2,258 ( 100.0 )	2,766 ( 100.0 )	△ 507 ( △ 18.4 )	4,350	10,640
アニメーション部門	2,258 ( 100.0 )	1,802 ( 65.1 )	+ 456 ( 25.3 )	4,350	10,640
アミューズメント部門	- ( - )	964 ( 34.9 )	△ 964 ( - )	-	-
営業利益	△ 53 ( △ 2.4 )	△ 124 ( △ 4.5 )	+ 70 ( - )	△100	170
経常利益	24 ( 1.1 )	△ 60 ( △ 2.1 )	+ 84 ( - )	20	360
当期純利益	12 ( 0.6 )	△ 27 ( △ 1.0 )	+ 40 ( - )	△10	160
1株当たり四半期 (当期)純利益	0円31銭	△0円65銭	0円96銭	△0円24銭	3円92銭

- (注) 1. 百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 対前期比較の( )内は、比較増減率を記載しております。

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月29日

上場会社名 株式会社トムス・エンタテインメント  
 コード番号 3585 URL <http://www.tms-e.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村 秀樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 岡山 仁  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月5日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 名

TEL 03-5325-9111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,246	9.4	△73	—	△24	—	△66	—
21年3月期第1四半期	2,966	—	△84	—	△30	—	△38	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△1.62	—
21年3月期第1四半期	△0.92	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
22年3月期第1四半期	17,279	—	14,233	—	81.9	—	346.57	
21年3月期	17,864	—	14,580	—	81.2	—	355.04	

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 14,159百万円 21年3月期 14,506百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	7.50	7.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	6,450	△9.5	△70	—	△10	—	△90	—	△2.20
連結累計期間	14,970	5.6	310	6.2	380	35.9	30	△55.9	0.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 44,153,101株 21年3月期 44,153,101株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 3,295,507株 21年3月期 3,294,992株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 40,857,858株 21年3月期第1四半期 42,260,272株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱から世界経済が停滞し、依然として企業業績は厳しい状況が続きました。個人消費についても雇用不安や先行きへの不透明感から生活防衛意識が高まり消費は低迷しました。

このような経済環境のもとで、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高は32億4千6百万円（前年同期比9.4%増）、営業損失は7千3百万円（前年同期は営業損失8千4百万円）、経常損失は2千4百万円（前年同期は経常損失3千万円）、四半期純損失は6千6百万円（前年同期は純損失3千8百万円）となりました。

売上高では、アニメーション事業においては、制作収入、販売収入ともに前年同期を上回りました。アミューズメント事業においては、業界全体の低迷に加え新型インフルエンザ発生などの要因も重なりましたが、全体的には微減にとどまりました。以上の結果、全社合計では前年同期を上回る結果となりました。

利益面では、アニメーション事業においては、販売収入が好調であったものの制作収入のコスト増を吸収することができず、事業全体では営業利益、経常利益ともに前年同期を下回りました。アミューズメント事業においては、コスト削減の効果や前期5店舗の減損処理に伴う減価償却費の減少もあり前年同期を上回ったものの、営業損失、経常損失を計上する結果となりました。

以上の結果、全社合計では営業損失、経常損失の計上となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (1) アニメーション事業

アニメーション事業においては、制作収入はTV向け番組制作はほぼ前年並みとなり、素材制作収入の増加を受け、制作収入全体は10億円と前年同期比11.2%増加となりました。

一方、ロイヤリティなどの販売収入は、前期に引き続きTVシリーズ「爆丸」が北米において好調であったことを受け海外販売収入が好調となり、販売収入全体では13億1千1百万円、前年同期比19.0%増加となりました。

この結果、アニメーション事業全体の売上高は23億1千2百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は1億1千8百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

#### (2) アミューズメント事業

アミューズメント事業においては、当第1四半期に1店舗(AGスクエア四日市店)を閉店し、当第1四半期末現在の店舗数は24店舗となりました。アミューズメント業界全体が低迷する中、売上高は3.2%の減少にとどまりました。

この結果、アミューズメント事業の売上高は9億3千3百万円（前年同期比3.2%減）、営業損失は1千9百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は172億7千9百万円（前連結会計年度比5億8千5百万円の減少）となりました。主な減少の要因は、現預金の増加4億5千1百万円や有価証券の増加2億9千5百万円などがあったものの、受取手形及び売掛金の減少9億4千6百万円、商品及び製品の減少2億4千9百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は30億4千5百万円(前連結会計年度比2億3千8百万円の減少)となりました。主な減少の要因は、支払手形及び買掛金の減少3億7百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は142億3千3百万円(前連結会計年度比3億4千6百万円の減少)となりました。主な減少の要因は、配当金の支払い3億6百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきまして現段階で入手可能な資料に基づき第2四半期以降の業績を検討した結果、平成21年4月30日に公表しました業績予想の修正をしております。内容につきましては、本日付「平成22年3月期第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」により公表しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の定率法を採用している資産につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延資産の回収可能性

繰延税金資産の回収可能性につきましては、当第1四半期連結会計期間における主な税務上の加減算項目を考慮し、前連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,309,044	2,857,725
受取手形及び売掛金	1,305,347	2,252,227
有価証券	1,995,000	1,699,960
商品及び製品	1,146,442	1,396,439
仕掛品	1,080,772	1,030,047
原材料及び貯蔵品	46,326	51,633
その他	778,467	660,111
貸倒引当金	△51,514	△14,130
流動資産合計	9,609,888	9,934,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,753,680	1,776,469
その他(純額)	1,825,679	1,909,165
有形固定資産合計	3,579,359	3,685,634
無形固定資産		
投資その他の資産	221,742	215,063
その他	3,951,735	4,115,374
貸倒引当金	△83,458	△85,747
投資その他の資産合計	3,868,276	4,029,626
固定資産合計	7,669,379	7,930,325
資産合計	17,279,267	17,864,340
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,350,601	1,657,639
未払法人税等	21,318	18,844
未払消費税等	24,476	—
役員賞与引当金	4,731	18,924
賞与引当金	34,563	79,421
その他	882,198	748,061
流動負債合計	2,317,889	2,522,891
固定負債		
退職給付引当金	384,122	380,502
役員退職慰労引当金	93,188	88,676
その他	250,266	292,227
固定負債合計	727,577	761,406
負債合計	3,045,466	3,284,297

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,816,866	8,816,866
資本剰余金	1,806,323	1,806,323
利益剰余金	4,776,344	5,148,923
自己株式	△1,275,793	△1,275,700
株主資本合計	14,123,741	14,496,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,368	11,131
為替換算調整勘定	△1,250	△1,335
評価・換算差額等合計	36,117	9,795
新株予約権	73,941	73,834
純資産合計	14,233,800	14,580,042
負債純資産合計	17,279,267	17,864,340

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,966,437	3,246,685
売上原価	2,589,472	2,883,115
売上総利益	376,964	363,570
販売費及び一般管理費	461,645	437,209
営業利益又は営業損失(△)	△84,680	△73,639
営業外収益		
受取利息	—	18,317
受取配当金	—	31,134
為替差益	38,827	—
その他	23,979	6,568
営業外収益合計	62,806	56,020
営業外費用		
長期前払費用償却	3,259	3,048
為替差損	—	2,083
清算子会社の管理費用	3,268	—
その他	2,465	1,354
営業外費用合計	8,992	6,487
経常利益又は経常損失(△)	△30,866	△24,106
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,236	8,398
その他	—	1,138
特別利益合計	3,236	9,537
特別損失		
固定資産除却損	29,325	200
建物賃貸借契約解除に伴う損失	—	90,481
その他	1,042	61
特別損失合計	30,368	90,743
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△57,998	△105,311
法人税、住民税及び事業税	18,773	10,228
過年度法人税等	—	16,010
法人税等調整額	△38,015	△65,408
法人税等合計	△19,242	△39,169
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,756	△66,142



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	アニメーション 事業 (千円)	アミューズメント 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	2,001,911	964,526	2,966,437	—	2,966,437
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	2,001,911	964,526	2,966,437	(—)	2,966,437
営業利益又は 営業損失(△)	123,024	△28,357	94,666	(179,346)	△84,680

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	アニメーション 事業 (千円)	アミューズメント 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	2,312,800	933,884	3,246,685	—	3,246,685
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	2,312,800	933,884	3,246,685	(—)	3,246,685
営業利益又は 営業損失(△)	118,577	△19,809	98,768	(172,407)	△73,639

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2 各事業の主な内容

(1) アニメーション事業……アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出

(2) アミューズメント事業……アミューズメント施設の企画・開発・運営

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	北アメリカ	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	18,959	91,013	135,176	15,064	260,214
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	2,966,437
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	0.6	3.1	4.6	0.5	8.8

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっている。  
 2 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北アメリカ……………アメリカ合衆国  
 (2) アジア……………韓国・台湾・タイ・マレーシア  
 (3) ヨーロッパ……………フランス・イタリア・スペイン・ドイツ  
 (4) その他の地域……………中南米・ロシア他

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	北アメリカ	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	220,108	121,145	21,603	30,720	393,578
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	3,246,685
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	6.8	3.7	0.7	0.9	12.1

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっている。  
 2 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北アメリカ……………アメリカ合衆国  
 (2) アジア……………台湾・インドネシア・タイ・香港  
 (3) ヨーロッパ……………イタリア・フランス・ドイツ・フィンランド  
 (4) その他の地域……………中南米・ロシア他

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
 該当事項はありません。

6. その他の情報

表示方法の変更

当連結会計年度(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

(四半期連結損益計算書)

前第1四半期連結累計期間に営業外収益の「その他」に含めて表示していた受取利息並びに受取配当金は、当第1四半期連結累計期間においてそれぞれ営業外収益の100分の20を超えることとなったため「受取利息」、「受取配当金」として区分掲記いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれている受取利息並びに受取配当金の金額は、それぞれ4,609千円、11,000千円であります。